

令和 7 年度みどり政策推進室の主要な事業について

1 令和 7 年度予算編成方針

公園や街路樹などの維持・保全を着実に実施するための予算を引き続き計上するとともに、令和 5 年 1 1 月から取組を進めている「こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト」の更なる充実を図るための予算を計上した。

(参考) こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト

人口減少対策及び“こどもまんなか社会”の実現に寄与する視点から、公園に関する様々な取組を、これまで以上に拡充して実施し、安全かつ充実した子育て環境の整備に資する公園づくりを進めていく取組。

2 令和 7 年度予算・事業（単位：千円）

	R6 当初予算 ※	R7 当初予算 ※	増減	(参考) R7.2 補正予算	事業内容
公園緑地 維持費	2, 250, 192	2, 384, 849	134, 657	0	公園維持管理、街路樹育成管理や公園利活用に係る経費
公園緑地 整備費	912, 276	1, 305, 019	392, 743	283, 594	遊具など公園施設の更新、雨庭整備等に係る経費
公共施設 整備費	198, 931	361, 969	163, 038	38, 665	街区公園再整備等に係る経費
文化市民 局要求分	0	106, 000	106, 000	0	東野公園の遊具更新等に係る経費
合計	3, 361, 399	4, 157, 837	796, 438	322, 259	

※ 令和 6 年度は第一次編成予算及び第二次編成予算の合計

3 令和 7 年度の主要な事業

(1) こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト（文化市民局要求分含む）

(R6 864, 000 千円 → R7 1, 488, 000 千円 (+624, 000 千円))

(洛西”SAIKO”プロジェクト 87, 158 千円、meetus 山科-醍醐 184, 319 千円含む)

公園の遊具更新やインクルーシブ遊具の設置など、令和 6 年度までの取組に加え、公園樹木の剪定による見通し確保等により、子どもが安心・安全に遊べる利用環境を整備するとともに、東野公園を中心とした山科・醍醐地域の公園魅力アップに取り組む。

【令和 7 年度からの充実内容】

ア 公園施設の充実

- ・ 公園の遊具更新
- ・ その他公園施設更新・新設等
- ・ 公園樹木管理の充実
- ・ トイレの洋式化

イ 東野公園（山科区）の環境整備

樹木等の伐採・剪定、遊具更新及びインクルーシブ遊具の設置等

ウ 柴山西公園（山科区）の再整備設計

(2) 公園利活用の推進

(R6 19,900 千円 → R7 19,400 千円 (△500 千円))

ア 宝が池公園の魅力向上に向けた公民連携の取組の推進

宝が池みらい共創会議における情報発信や交流イベントなどソフト面の取組に加え、民間事業者の活力とノウハウをいかして、菖蒲園に新たな有料の屋内型遊び場や遊び場利用者以外も利用できるカフェを併設した複合施設、北側市有地に、有料駐車場の整備を進める。[別紙 1 参照](#)

イ Park-UP 事業の推進

令和 7 年度から着手している南部公園をはじめ、Park-UP 事業に取り組んでいる・取り組もうとしている地域に対する支援を引き続き実施し、地域主体の持続可能で柔軟な利活用を推進する。

なお、地域（北鍵屋公園運営委員会（藤森学区））、株式会社セブンーイレブン・ジャパン、京都市の三者が連携し、取組を進めてきた北鍵屋公園においては、令和 6 年 1 1 月に地域交流施設及びコンビニエンスストアがオープンした。[別紙 2 参照](#)

（参考）Park-UP 事業の概要

地域に身近な街区公園等を対象として、地域が主体的に公園の管理運営を進め、また、地域からの要望に応じ、民間企業等の多様なサポート団体の支援を受けることができる事業。令和 6 年 2 月に創設し、同年 5 月から同事業に取り組む地域の提案主体及びサポート団体の募集を開始している。

【令和 7 年 7 月末時点の状況】

- ・ Park-UP 事業に着手している公園
7 公園（北鍵屋、六兵ヱ池、新京極、竹間、桂坂、船岡山、南部）
- ・ サポート団体登録数
18 団体



< 報道発表資料 >

令和 7 年 6 月 2 5 日

京都市建設局みどり政策推進室

宝が池公園の魅力向上に資する公園施設整備に係る 設置許可候補事業者の選定結果

宝が池公園の魅力向上に資する公園施設を民間事業者の活力とノウハウをいかして整備するため、菖蒲園を対象に、公募型プロポーザルにより設置許可候補事業者の募集を行いました。

この度、宝が池公園施設整備事業者選定部会（以下「選定部会」という。）において、設置許可候補事業者を選定しました。

【選定結果の概要】

（１）設置許可候補事業者

代表事業者 株式会社井上工務店（所在地：岐阜県高山市江名子町 2715-11）

構 成 員 三和建設株式会社

すみれアセットマネジメント株式会社

飛騨五木株式会社

株式会社ウエダ本社

（２）審査結果

事業者	得点
< 設置許可候補事業者 > 代表事業者 株式会社井上工務店	86.4 点/100 点
A 事業者	37.4 点/100 点

【設置許可候補事業者の提案内容】

※今後の関係各所との協議により、一部変更となる可能性があります。

（１）提案内容

- 「木のぬくもりと共に育つ親子の居場所づくり」をコンセプトとして、菖蒲園に、有料の屋内型遊び場（約 820 ㎡）や遊び場利用者以外も利用できるカフェ（約 180 ㎡）を併設した複合施設（カフェ部分のみ 2 階建）、北側市有地に、有料駐車場（約 2,800 ㎡）を整備

- 建築資材や遊び場の遊具全てに京都府産を含む国産木材を活用した「木育施設」とし、豊かな感性を育む多様な遊具・玩具を配置するとともに、屋内外で自然と触れ合うイベントを実施
- 多様な関係者が参画し、公園の魅力創出や地域活性化に取り組む「宝が池みらい共創会議」への活動支援として、交流拠点の創出及びイベント等を実施
- 遊び場利用者以外も対象とした遊具の貸出しによる公園全体の賑わい創出や、大人向けのカルチャー教室・イベントの開催による多世代が集う交流の場を提供

整備イメージ図



(2) 設置許可の期間

20年間（施設の建設期間及び原状回復期間を含む）

(3) 公園使用料の提案価格

7,851,081円（年額）

【選定の理由】

「宝が池公園の魅力向上に資する公園施設整備に係る設置許可候補事業者選定のための募集要項」に基づく選定部会での審査の結果、設置許可候補事業者として妥当であると評価されました。

● 評価された点

- ・ 事業計画の実現性が高く、「宝が池みらい共創指針」との整合や、「宝が池みらい共創会議」への支援に対する十分な提案がなされ、宝が池公園の魅力向上に寄与する提案である。

- ・ 木材に親しむことのできる規模の大きい屋内型遊び場であり、広く市民に開かれた空間として、多様な世代の交流の場となる提案である。
 - ・ 既存の樹木をいかした施設配置であり、自然環境の配慮がなされるとともに、地域産木材の活用や伐採した樹木の当該施設での活用等が提案されている。
- 今後期待すること
- ・ 公園利用者増加及び駐車場整備に伴う周辺道路環境への影響を慎重に検討し、安全性の確保に努めてもらいたい。

(参考1) 選定部会員 (敬称略・五十音順)

- ・ 奥田 希充子 (公認会計士)
- ・ 黒木 要州 (一般社団法人京都府建築士会 理事)
- ・ 内藤 光里 (市民公募委員)
- ・ 二股 茂 (岩倉南学区自治連合会 会長)
- ・ 山口 敬太 (京都大学大学院地球環境学堂 准教授) 【部会長】

(参考2) 選定の経過及び今後の予定

令和6年11月6日	第1回選定部会 (募集要項に係る審議)
12月19日	募集要項の配布開始
令和7年4月24日	申込書類の受付締切
6月4日	第2回選定部会 (提案内容の審査)
6月25日	選定結果の公表<今回>
令和7年7月頃	本市と事業者で協定締結
令和7年度中	設置許可書の発行
供用開始前まで	宝が池みらい共創会議と事業者で協定締結
令和9年春頃	施設開業 (予定)

(参考3) 宝が池みらい共創会議

宝が池公園に関わる多様な関係者の積極的な参画及び公民連携の下、宝が池公園の将来像を共有するとともに、その実現に向けた取組を実践することにより、持続可能で魅力ある公園づくり、ひいては周辺地域の活性化へとつなげていくことを目的に活動する任意団体です。本会議において取りまとめた将来像である「宝が池みらい共創指針」の詳細については、本市ホームページより参照してください。

URL : <https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000323711.html>

(参考4) 位置図



上図：宝が池公園 全体像

下図：菖蒲園周辺 拡大図

<お問合せ先>

京都市建設局みどり政策推進室

電話：075-222-4114

(報道発表資料)



令和6年11月22日

京都市建設局

〔担当：みどり政策推進室〕
電話：075-222-4114

地域×株式会社セブン-イレブン・ジャパン×京都市の三者が連携 北鍵屋公園に Park-UP 施設（地域交流施設及びコンビニエンスストア）がオープン

この度、京都市の Park-UP 事業を活用する第1号の公園として、地域（北鍵屋公園運営委員会（藤森学区））、(株)セブン-イレブン・ジャパン、京都市の三者が連携し、取組を進めてきた北鍵屋公園において、地域交流施設及びコンビニエンスストアがオープンします。併せて、(株)セブン-イレブン・ジャパンが主催の完成記念式典が開催されます。

記

1 地域交流施設及びコンビニエンスストア

(1) オープン日

令和6年11月29日（金）

(2) 場所

北鍵屋公園（伏見区深草北鍵屋町990-3他）

(3) 施設概要

○地域交流施設

概要：公園利用者なら誰でも利用可能。利用可能日時は以下の SNS にて発信予定

施設：交流スペース、畳の小上がりスペース、授乳スペース、ミニキッチン、ウッドデッキ



Instagram
アカウント



※イメージ画像は実際と異なる場合があります。

○セブン-イレブン伏見北鍵屋公園店

概要：コンビニエンスストア

施設：京都市産木材を100%使用した木造店舗

おむつ交換台付き多目的トイレ（公園トイレも兼ねる）、給水スポット有



※イメージ画像は実際と異なる場合があります。

2 完成記念式典

- (1) 日時
令和6年11月28日（木） 午後2時～2時25分
- (2) 場所
北鍵屋公園（伏見区深草北鍵屋町990－3他）
- (3) 主催者等
主催：(株)セブン-イレブン・ジャパン
来賓：京都市
北鍵屋公園運営委員会
京都市域産材供給協会
(株)昭和工務店
(株)JM
- (4) 次第
開会
登壇者紹介
市長挨拶
北鍵屋公園運営委員会挨拶
(株)セブン-イレブン・ジャパン挨拶
セブン-イレブン伏見北鍵屋公園店オーナー挨拶
感謝状授与&フォトセッション
テープカット&フォトセッション

（参考）Park-UP 事業について

Park-UP 事業は、地域が主体的に公園を管理運営することを前提に、行政が定めた画一的な利用ルールではなく、地域合意のうえ、地域の実情にあった運営方針や利用ルールを定めることを認めるものです。これにより、多様化する公園利用者のニーズに応じた柔軟な管理運営が可能になるとともに、公園を中心とした地域コミュニティの活性化が期待されます。また、民間企業、市民活動団体、大学、NPOなどのサポート団体が、地域による公園の管理運営を支援することで、公園の楽しみ方が広がり、人々が集い交流する場となるなど、関係人口を更に増加させる好循環を構築しながら、柔軟で持続可能な公園の管理運営が実現することを目指しています。

詳細は以下のページを御確認ください。

【URL】 <https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000323881.html>